

Topics①

「ひとりひとりがヒーローのように」

～マーベルスター全国重症心身障害日中活動支援協議会全国大会へ～

びわこ学園障害者支援センター・えがお利用者 中川 渉斗・カワムラ ケルイン・田西 裕也・福井 響

ワクワク、ドキドキ 滋賀～長崎への旅



米原から京都へ

米原駅では4回エレベーターに乗っていかないとホームに登れなかったのですが、少々移動に苦労しましたが、新幹線の乗り込みなどは不便なくスムーズに出来ました。

車両内では車いす席、多目的室を利用しました。こだまの中は車椅子で移動しやすく、様々な人が困ることなく安全に使える設計で素早く動けました。

京都から博多へ

京都から先は自分たちの活動では初めて向かったので、少し景色を楽しみながら博多まで移動しました。

博多駅に着いて、新幹線を降りた時ホームが煉瓦造りだったので、強く印象に残りました。そして駅員さんの案内を受けて、次に乗り換える「リレーかもめ」を待ちました。



博多から武雄温泉へ

武雄温泉まではグレーの塗装が印象的で格好良い「リレーかもめ」に乗りました。ですが、出入口や連絡通路がとても狭く、車いす席もなかったので3台乗るのにかなりの手間がかかりました。

武雄温泉から長崎へ

長崎までは9月に開業された西九州新幹線「かもめ」を利用しての移動でした。

かもめは出入口が広く、車いすの私たちが利用しやすい車両でした。駅員さん達も、丁寧に案内をしてくださり、乗降をスムーズに行えました。かもめには、また乗りたくなるような良い印象でした。



私たちの活動名は「マーベルスターNO.1」です。中川 渉斗をリーダーとして、カワムラ ケルイン、田西 裕也、福井 響の4人で活動しています。

マーベルという言葉には「驚くべきこと」や「不思議な力」という意味があり、そこに「スター」と「NO.1」をプラスして、“ひとりひとりがヒーローのように自分の特性を活かせる社会をつくっていききたい”との願いを込めてこの名前を付けました。

全国重症心身障害日中活動支援協議会は「笑顔」と「希望」と「輝き」がテーマの全国大会で、長崎ブリックホールで行われました。私たちは、4つあるプログラムの中の実践報告の回で発表しました。みさかえの園あゆみの家の吉田 拓哉医師を座長として迎え、15分間で「日中活動における社会啓発活動の取り組み」について「マーベルスターNO.1」のことや日々行っている活動について、会場やリモート参加している方々に伝えました。

私たちの行っている活動は、ピアピアと称した「CILだんない」、マルチスイッチとの会議、ペットボトルリサイクル、バリアフリー啓発、自立支援協議会への参加が主な取り組みです。

発表の資料として作ったパワーポイントは、すべて自分たちで考え、編集しました。初めて作ったので苦労しましたが、とても良いものが出来上がったと思っています。

発表には手ごたえをしっかりと感じ、会場の反響も大きかったので、良い経験になったとともに、次の機会にも活かせるような時間でした。

【最後に、参加したみんなから一言】

- ・私は大人になって初めてこのような大規模な協議会に参加したのでとても緊張しましたが精一杯頑張ったと思います。(カワムラ ケルイン)
- ・初参加で発表したにもかかわらず、発表をみんなに聞いてもらえて嬉しかった。また発表したい。(田西 裕也)
- ・今度はもっと上手く発表出来るようになりたい。(中川 渉斗)
- ・今回はリモート参加だったが、次回は現地参加したい。(福井 響)

私たちは社会啓発活動を続けながら、次回、このような機会に向けて日々の活動を頑張っていきたいです。

「マーベルスターNO.1」の応援よろしくお願ひします。



カワムラ ケルイン作



左から、中川さん、田西さん、ケルインさん、福井さん



オリジナルステッカーの紹介です。ポジティブになれるようにと気持ちを込めて作りました。一枚200円で売っていて、これによって集めたお金は「バリアフリー啓発」活動に使います。

活動の様子を
Instagramで発信しています。
MARVELSTAR NO.1【えがお】

